

子ども・子育て会議委員からの意見・回答について

○基本目標 1 こども・若者が自分らしく暮らせるまちづくり

基本施策（1）こどもの「生きる力」の育成

①P52「No.1-14 部活動指導員配置・部活動外部指導者派遣の充実」

部活動顧問が中学校の先生となると、先生は、時間外労働になるのでは。その上、土日祝日も出勤となると、中学校の先生は毎日出勤となり、働きすぎになるのではないか。

【回答：学校教育課】

現在の部活動は、教育活動の一環であり、ほとんどの部活動の顧問を教員が務めているため、勤務時間外に指導をすることがあります。

今後は、学校単位で行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障するよう、全国的に部活動の地域移行が進んでいます。

加東市では現在も、顧問と同様に練習の監督や練習試合等の引率ができる部活動指導員を18名、技術指導を主とする部活動外部指導者を2名配置していますが、来年度以降、更に人数を増やし、指導の充実と教員の負担軽減を図る予定です。

また、今後、部活動の地域移行が進んだ際、希望する教員は、地域の指導者として活動することが可能ですが、「加東市部活動方針」では、現在、土日の部活動は、原則としてどちらか1日を休みに設定するように定め、適切に休養日を設けるようにしています。

基本施策（3）こどもの貧困対策

②P53「No.1-23 奨学金給付制度の実施」

「高等学校」進学時だけでなく、大学進学時にも活用できる奨学金制度があれば良いと考える。高等学校進学後、学費は極端に高額になる。大学はなおさらで、国や各種団体の奨学金を利用して進学するものはいるが、高額ではなくても、学費の補助（支援）があれば良いのではないか。

【回答：教育総務課】

大学生で利用できる奨学金として、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する給付型奨学金や、貸与型奨学金があります。貸与型奨学金を受けられた方で、兵庫県内に本社がある事業所へ就職した場合、事業所から奨学金返済の支援が受けられる貸与型奨学金返済支援制度もあります。

奨学金については、106の民間団体（大学推薦50団体、大学経由5団体、直接応募51団体）が運営する給付型奨学金を提供している大学もあり、加えて、大学独自に実施している授業料免除の制度などもあります。

また、今後、国のこども未来戦略により、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金が一部拡充されるなど、国等で活用できる様々な奨学金制度があるため、本市独自で大学進学に係る奨学金制度は、現時点では予定していません。

基本施策（３）こどもの貧困対策

③P54「No.1-25 幼児教育・保育の一部無償化」

「３歳時から５歳時及び住民税非課税世帯の０歳時から２歳時を対象に…」の所で、４月時点での年齢となると、１月～３月生まれの子どもは対象になっているのかどうか。

【回答：こども教育課】

無償化の期間は、３歳になって最初の４月１日から小学校入学前までの３年間となるため、１月～３月生まれの子どもも同様に対象となります（３歳児・４歳児・５歳児）。また、住民税非課税世帯である０歳～２歳児も無償化の対象です。

認可外保育施設等の無償化にあたっては、家庭での保育が困難である保育の必要性の認定が必要となります。

※幼稚園・認定こども園の教育利用の場合は、３歳になった日から最初の３月３１日（年度末）までにあるこども（満３歳児）が対象

基本施策（４）こども・若者に魅力あるまちづくり

④P56「No.1-40 魅力ある働く場所の創出」

「産業団地の創出に取り組み…」とあるが、外部からの企業誘致のような形だけではなく、加東市の地場産業である、東条の釣り針や農業（山田錦の栽培）等、加東市の特色を活かし、他の地域に無いような特色ある雇用拡大が盛りこめられればより良いと考える。

【回答：まちづくり創造課・農政課・商工観光課】

地場産業の維持・発展は非常に重要なことではあります。農業については、新規就農者への資金援助、スマート農業の活用等による生産性の向上などにより、担い手を目指す次世代の方が農業に参入しやすい環境を整え、魅力ある働く場所の創出を目指します。

しかしながら、加東市内で地場産業を営む企業については若者を計画的に雇用する規模ではなく、現段階ではそのようなニーズは把握しておらず、産業団地の創出を実現していくためには、企業の進出ニーズが不可欠であることから、地元企業も含めてその把握に努めていきたいと考えています。

○基本目標3 安心してこどもを産み育てることができる環境づくり

基本施策（１）子育て支援の質と量の確保

⑤P65 該当する項目無し

保育士の先生の労働にも限界があることを知りました。しかし、加東市民病院の看護師さん達には夜勤があると思います。一度お試しで、現在の社小学校に、加東市内の事業所さんで夜勤をされている方のお子様（０歳から１２歳）のための、２４時間、３６５日の子ども預かり所を検討されてはいかがでしょうか。

【回答：こども教育課】

２４時間、３６５日のこども預かり所について、この事業を実施した際に、まずは、どのくらいの方が利用したいと思われるかを把握しなければなりません。それにより、場所・人員確保・経費等を検討することになります。また、加東市民病院の看護師から、これまでに要望等がなかったことから、事業の検討まで至っていないと思われます。

したがって、事業の実施に当たっては、大きな経費が発生すること、十分な調査・情報収集をしないといけないということ、費用に対して効果はどうかといった検証も必要なことから、総合的に判断して、非常に難しいと考えます。

<参考>

加東市民病院に隣接する病児病後児保育施設「かとっこ」には、加東市民病院院内保育施設『ゆめっこ』が併設されています。この施設は、加東市民病院に勤める医療スタッフが、勤務時に子どもを預けられる施設です。２４時間３６５日ではありませんが、育児期間中のスタッフがより働きやすい環境づくり、新たな医療スタッフの確保と病院への定着に取り組んでいます。

⑥該当する項目無し

「基本目標３ 安心してこどもを産み育てることができる環境づくり」に関して、来年度から社学園が開校し、社地域の５小学校が１校に統合される。小中一貫教育についてはメリットもあり、良いことではあるが、居住地域にあった小学校が閉校することは、今後子育て世帯がその地域に居住しなくなる可能性が高くなり、地域格差は歴然ではないか。市の行政サービスは本来、どの地域に居住していても行政サービスを平等に受けられるべきであり、そのための努力をすべきである。そうした視点をこの計画に含んでももらえればと切に望む。

【回答：人権協働課】

生活上の利便性に関しては、地域によっては不便に感じるかもしれませんが、子育て環境で好条件とされるのは、利便性のみだけではないと考えます。また、少子高齢化等に伴う地域コミュニティの衰退は、市内の多くの地区において問題となっており、各地区やまちづくり協議会等は、持続可能な魅力ある地域づくりに向けた取組を行ってまいります。

加東市といたしましても、どの地域に居住されても平等に受け取っていただく子育てや教育に関する支援や各地域の実情に応じた主体的な取組への支援、自主運行バス等による公共交通空白地の解消に努めるなど、誰もが暮らしやすいまちづくりのための施策に取り組んでいきます。内容につきましては、総合的な内容と考えますので、こども計画には掲載いたしません。加東市全体の問題として、他部署にも共有し、今後の市の施策に参考とさせていただきます。

パブリックコメントにおける意見に対する考え方等について

資料②

意見の取扱区分

「A」… 修正（案を加筆・修正し、反映させるご意見）

「B」… 記載済（案に趣旨や考え方、取組等が既に記載されているご意見）

「C」… 参考（今後のこども施策に参考とさせていただくご意見）

「D」… 回答（質問、ご意見にお答えするもの）

「E」… その他（感想によりお答えしないもの）

番号	該当ページ	取組	意見	意見の取扱区分	意見に対する考え方等	関係部署
1	P67	No.3-19 病児・病後児保育事業の実施	「かとっこ」を設立する際に取られたアンケートでは、対象の保護者の方の6割以上の方が「必要だ」とか「利用したい」との回答だったと思います。全国的にもここ10年で病児保育を行う施設が2.6倍にも増えていますし、これからも需要は増えていきます。 子ども家庭庁からの補助もあったりするかと思いますので、もう少し予約しやすいシステム（キャンセル待ちができたり、スマホで簡単に予約できるなど）を導入したり、市内の小児科や企業と連携して施設数を増やすなどの計画を立ててもらえると有難いです。 また、「子どもが風邪をひいているのに仕事に行くなんて」みたいな風潮もまだまだありますので、市からの発信もお願いします。	D	病児・病後児保育事業の利用者は、コロナ禍を除き年々増加傾向にあり、令和5年度実績は延べ232人が利用されました。 「かとっこ」の予約は、事前に利用登録届等を提出して登録し、その後に予約等を行っていただきます。利用登録届については、書面のための提出でしたが、令和6年度からオンラインによる申請も可能といたしました。しかし、予約方法は、電話による予約方法としています。システム導入にかかる経費やセキュリティの問題もあるため、現時点での導入は難しいと考えますが、その効果等を十分に検証する等努めて参ります。 また、施設数を増やすことにつきましては、インフルエンザ等の流行性感染症が増える時期には、利用希望が増えることもあります。小児科不足や昨今の保育士不足による職員確保が難しいこと、アンケート結果より利用ニーズが低いこと等に伴い、施設の新設や定員の拡	こども教育課

					充は、現時点では予定しておりません。 なお、病児・病後児保育事業は、共働きの子育てと就労の両立を支援する重要な事業であるため、今後は、病児・病後児保育事業のことや施設「かとおこ」について、安心してこどもを預けられることなど、市民の皆様に広く周知していくとともに、他市町の取組みを参考にし、予約方法の改善や受入体制の拡充など、利用者の皆様が利用しやすくなるよう取り組んで参ります。	
2	P55・62 P67~69 P79~81	No.1-31,2-22,4-22,4-36 ひょうご放課後プラン(地域子ども教室)の推進 No.3-20 地域子育て支援拠点の充実 No.3-22 情報提供・相談体制づくり No.3-29 SNS等を活用した子育て情報の提供 No.3-30,4-27 まちの子育てひろばの情報提供	加東市内でも無料や、子ども達だけで参加できる体験がいくつもあると思います。ただ、それぞれの施設や担当課がイベントや行事をそれぞれで発信しているので、情報を集めるのが大変です。ましてや民間が行っているものまでとなると、時間の余裕がない家庭は、すぐ近くで子ども達に合ったイベント情報を入手しにくい状況です。 例えば、「かとうすくすくダイアリー」は幼児に特化していますが、このように1つのアプリで子ども達に関する情報(イベントに関わらず)がすべて分かるものがあれば、情報弱者と言われる方でもアクセスしやすいので、市や地区、民間の様々な催し(学校行事も)にも参加しやすくなります。 アプリをするかどうかは別として、子ども達が世帯の状況になるべく影響されず、様々な体験にアクセスできる環境を作る施策をして頂きたいです。	C	子育て世帯が様々な情報を入手できる環境を作るとはとても大切なことだと考えています。 イベント等の情報発信については、ご意見のとおり、担当課から学校・園を通してチラシ等を配布するほか、広報やホームページにその情報を掲載し、ホームページの情報は、LINEで加東市を友達登録されている方に、新着情報が自動的に配信されます。 また、「かとうすくすくダイアリー」は、乳幼児期以外のこどもがいる家庭でも登録でき、LINEと同様にホームページの新着情報の受信や、対象年齢を指定した発信も可能です。しかし、ご要望されているようなこどもに関する全ての情報を収集できるものは、現時点ではございません。 総合アプリのような媒体を開発することは、費用的なことや人間的にも難しいですが、これまでから活用しています	秘書広報課 企画政策課 福祉総務課 健康課 生涯学習課 こども教育課 社会福祉協議会

					S N S や市広報紙、市ホームページ、「すくすくダイアリー」などの活用を周知していくとともに、発信方法について関係部署と協議し、情報が収集しやすくなるよう、発信内容の充実を図ってまいります。	
3	P51~54	No.1-06,1-18,1-20 1-26 キャリア教育の充実	「かとう夢授業」ととても良い取り組みだと思いますが、講演会的なものが多く、一方通行なりやすいので、双方向なやり取りのできる夢授業を増やして頂けたら嬉しいです。	D	かとう夢授業の一般向けの実施に関しましては、より多くの方にご参加いただきたいという思いから講演会という形式で開催いたしました。一般向けの夢授業は今回限りの実施ではございますが、またこのような機会がございましたら、今回いただいたご意見も参考に内容の検討をさせていただきます。 学校が実施するかとう夢授業では、全校生を対象とするものは、主に講演会形式となってしまいますが、質疑応答の時間も設けています。学年別や部活動など一部の児童生徒を対象にしたものは、実験をしたり、体を動かしたりと、体験できる内容を実施している授業もあり、こどもたちが夢や目標の実現に向かって進んでいく力の育成を図ります。	企画政策課 学校教育課

こどもからの意見に対する考え方などについて

意見の取扱区分

「A」…修正（計画案に文字を加えたり、直したりするご意見）

「B」…記載済（計画案に考え方や取組などが、書かれているご意見）

「C」…参考（今後の取組に参考とさせていただくご意見）

「D」…回答（質問やご意見にお答えするもの）

「E」…その他（感想によりお答えしないもの）

ばんごう 番号	がいとう 該当 ページ	とりくみ 取組など	いけん 意見	いけん 意見の とりあつかい 取扱区分	いけん たい 意見に対する かんが 考え方など	かいとうか 回答課
1	—	—	つか 使わなくなった学校の体育館など を利用して、室内に、だれでもBMX の練習ができるところを作っほ しい。	D	B M X 用の施設として民間が運営する 施設が滝野地域にありますが、閉校する 社地域の5校については、これまでから バレーボールやバスケットボールなどで 使っていた団体が、令和7年度は引き続い て使われる予定です。ご要望いただいた使 わなくなった学校の体育館をB M X に 活用することは、今の時点では、令和7 年度以降も予定していませんので、大変申 し訳ありませんが、ご理解くださいますよ うお願いします。	きょういく そう む か 教 育 総 務 課

2	—	—	スナッグゴルフが練習できるところをつくってもらえるよう、ゴルフ場をお願いしてほしい。	D	かとうし きょうかい き 加東市ゴルフ協会にお聞きしたところ、市内 ゴルフ 場内 でスナッグゴルフの練習場を作ることは、難しいようですが、体育館や近くの公園、社 中央公園ステラパークの芝生部分で練習することはできます。ただし、施設によっては事前の申込みや使用料が必要な場所もあるので注意してください。使うときは、まわりをよく見て、他の人と譲り合いながら、安全に使ってください。 また、市役所の生涯学習課では小学生チャレンジスクールで「スナッグゴルフ体験教室」や「ゴルフ体験教室」も行っていますので、ほかのお友達と一緒に練習してもらうこともできます。もし、興味があれば参加してみてください。 しっかりと指導を受けたい場合は、「加東市ゴルフ協会」が行っている教室などに入ってもらうのもよいかもしれません。	しょうこうかんこうか 商工観光課 しょうがいがくしゅうか 生涯学習課
3	P53 ~56	基本施策（3） こどもの貧困対策	みえないところで貧困が起きていることが、理解できた。	E	—	—

4	P50 P66	No.1-03、3-07(再掲) 保育士・保育教諭等の 資質向上及び適正配 置 No.1-10 小・中・義務教育学校 における人権教育の 推進	加東市には外国人の方も多く住ま われているので、文化が違う外国の 方にも配慮できるような視点が 必要だと思った。	C	12月末現在で、加東市には、1,392世帯（市 世帯の7.8%）、1,887人（市人口の4.8%） の外国の方が住んでおられます。この計画 には書いていませんが、加東市では、通訳 担当の職責を配置したり、8か国語の生活 ガイドブックを作ったり（ホームページで も確認できます）、窓口で翻訳機を使うな ど、外国の方が、加東市での生活に、でき るだけ困らないような取組に努めていま す。また、こども園などでも外国人のこど もが困らないよう、新しい取組を考えて いるところです。これからも、引き続き、 外国の方が加東市で安心して暮らしてい ただけるよう努めていきたいと考えます。	こども教育課
5	—	—	それぞれの目標に対して具体的な 対策（目標値設定）があまり詳しく 書かれていないと思った。	B	基本目標は、加東市が目指すところですが、目標を達成するために、たくさんの 取組があり、それをまとめて目標の数値 として書くのは難しいと考え、設定はし ていません。しかし、その中で特に重要と 思う取組に目標値を設定し、クリアしてい くことで、目指すところに近づいていくと 考えています。また、第5章の量の見込 み及び確保の方策のところでも、それぞれ の事業に目標値を設定しています。 全ての取組に目標値の設定はしていません。	こども教育課

					んが、毎年、達成状況などを評価・点検し、必要に応じて改善や見直しを行い、目標が達成できるよう努めていきます。	
6	P15	子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ① 子育てを主に行っている人【就学前児童・就学児童】	子育てを主に行っている人の割合としては、母親の方が多く、女性に任せきりにならないような工夫が必要だと思った。	B	P69・70の「基本施策（2）子育てと仕事ができる環境整備の推進」において、「性別にとらわれず子育てと仕事ができる環境づくりや、男女共同参画に対する意識啓発を図ります」と書いています。 職場環境の整備への働きかけや家庭における男性の育児・家事への関わり方を啓発するなど、取り組んでいきます。	こども教育課
7	—	—	すべての子どもがストレスなく暮らせることが大切であるので、その視点を持ってほしいと思った。	C	すべての子どもがストレスなく暮らせるということは、心身ともに充実した生活が送られていると考えられ、基本理念にあるように「すべての子どもがしあわせを実感できるまち」に繋がります。また、子どもがそうであれば、大人や周りの人も同じように、しあわせを実感できると思うので、とても大切なことです。 しかし、ストレスの原因は、人によって違うため、ストレスがなくなる取組を書くことは、難しいと考えます。取組として書いていませんが、これからは関係機関と	こども教育課

					あ し合 い な が ら、こ ど も の ス ト レ ス が す こ し で も け い げ ん で き る よ う つ と 努 め て い き ま す。 軽減	
--	--	--	--	--	---	--